



石橋 達八 議員  
(無会派)

一括質問  
方式

## 今後の後方支援の取り組みは

**問** これまでの後方支援活動に当たり、手本となる活動記録は大事だが、まずかった点、反省すべき点こそ将来に残し伝えるべきと考えるがどうか。

**答** 独立法人防災科学技術研究所の協力をいただき、官民一体で取り組んだ活動記録の事実整理とともに、客観的な分析による検証を行い、新たな防災指針の参考になるよう取りまとめ作業中である。

**問** 遠野市の観光振興は、被災地復興と連動する。自治体を越えた取り組みを期待するが、どのような取り組みを考えているか。

**答** 教育旅行の需要が多くなっていることから、関係機関団体と広域連携を図りながら、教育旅行誘致に取り組む。また、JR東日本のSL運行は、沿岸被災地の復興、観光振興、交流人口拡大に大きな力になる。遠野市の観

光振興を後押しする環境が整ってきていることから、SL停車場プロジェクト等を中心に観光振興を図り、復興支援の役割を果たす。

## 三校体制に伴う「中一ギャップ」の心配はないか

**問** 遠野市内の中学校が三校体制で船出する。これまでも、小学校から中学校へ進学した際に環境の変化に対応できず、不登校の増加や「いじめ」、何らかの理由で学習意欲が落ち込

み、学力低下となつて現れる「中一ギャップ」が心配されてきた。特に、統合元年の今年も、新一年生のみならず新二年生、新三年生も合流となれば同様の心配がされるが、こうした課題は大丈夫か。

**答** これまで、再編成を踏まえ、新設中学校区ごとに小学六年生の交流、中学校一・二年

の交流等など、計画的に滑らかな接続を図れるよう対策をしてきた。なお、環境の変化による生徒や保護者の不安や動揺を解消するため、岩手県教育委員会に臨床心理士資格を持つスクールカウンセラーの配置や、教員定数を超える加配、非常勤講師の配置等を要望しており、その見直しは明ると考えている。



新設された遠野中学校